

# 時空間情報科学を用いた歴史研究の刷新

## 目 次

---

研究の目的と経過 .....	新納 泉 (1)
第1章 時空間情報科学にかかわる哲学的試論 .....	出村和彦 (3)
第2章 古代における空間認識と郡郷編成 .....	今津勝紀 (7)
第3章 魏晋南北朝時代の気候変動に関する初歩的考察 .....	佐川英治 (21)
第4章 歴史学研究の一分析要因として「気候」を取り込むことは可能か？ — ヨーロッパ近世<小氷期 Little Ice Age>の場合 — .....	永田諒一 (31)
第5章 資料のデジタル化と活用の方法 .....	新納 泉 (57)

## 例 言

- 
1. 本書は、2007年度岡山大学文学部プロジェクト研究「時空間情報科学を用いた歴史研究の刷新」（新納泉・永田諒一・今津勝紀・佐川英治・出村和彦）の研究成果報告書である。
  2. この研究は、2004～2010年度国立大学法人岡山大学中期目標・中期計画において「地理情報システムなどの空間情報科学を用いて、歴史学や考古学をはじめとする人文学研究を推進する」とされた重点的方策の一環として実施されたものである。